

第3回大口町行政経営審議会 議事録

- 日 時 平成27年10月6日 火曜日 午後7時から
- 場 所 大口町役場 2階 第1会議室
- 出席者 田村健治（国際交流事業推進委員）、船橋里美（商工会）、
木野由美子（NPO法人まちねっと大口）、加藤正男（タイム技研株式会社）、
山田吉昭（株式会社青山製作所）、今尾謙一（愛知銀行）、岩崎恭典（四日市大学教授）、
棚村重三（元区長会長）、江端満世志（元議会議員）、吉田美晴（社会教育委員）、
吉田和江（NPO法人子どもと文化の森）井上正直（公募による委員）、
日比野喜也（公募による委員）、井上隆夫（公募による委員）
- 事務局 鈴木雅博（町長）、馬場輝彦（総務部長）、社本寛（政策推進課長）、
岩田雄治（政策推進課）
- 議 題 (1)基本骨子のふりかえりについて
(2)基本構想「まちづくりの尺度」について
(3)基本計画総論「まちづくり戦略」について
(4)今後の審議の進め方につて
(5)その他
- 配布資料 資料1：第1編序論 第2編基本構想
資料2：第3編基本計画 総論
資料3：第7次大口町総合計画骨子案
資料4：総合計画策定スケジュール案
資料5：第4回以降の審議会の開催について

1. あいさつ

会 長	<p>○前回までは、まだウォーミングアップの段階であったと思う。</p> <p>○いよいよ、本日、審議会の検討事項について諮問して頂き、これから、内容について詰めた検討を数回にわたり行っていく。町民の生活全般にかかわる内容であるので、ボリュームも多いことから、これから集中的な審議をお願いすることになる。そのための始まりの回であるといえる。</p> <p>○各委員のお立場から、思われたことを遠慮なくご発言いただきたい。</p>
-----	--

2. 諮問

町 長	<p>○本日は、お仕事などでお疲れのところ、第3回行政経営審議会へのご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>○総合計画は、これから大口町の10年間のまちづくりの骨子になる大事な計画であり、職員も同様の認識をもって計画策定にあたっている。</p> <p>○先人が築き上げてきた大口町は、企業の皆様のご協力もあり豊かなまちが作りあげてきた。これらを受け継ぐために大事な10年になる。つつがないご意見をいただき、新しい大口町についてともに考えて頂けるようお願いしたい。</p>
-----	--

	<p>○皆さん方からの多様なご意見・アドバイスを頂き、これからの大口町、子どもたちのためによりよい総合計画を作り上げていきたい。</p> <p>※委員を代表して岩崎会長に諮問</p>
会 長	<p>○次の新しい総合計画策定についての諮問をいただいた。諮問書は、ぜひ皆さんにも配布をお願いしたい。</p> <p>○これから本審議会で答申作成の作業を進めていく。庁内で職員が時間をかけて議論して素案を作成しているが、どうしても住民の目線からみた場合に不足する点などもあるかと思う。</p> <p>○追加のご提案などを出していただいて、諮問に対する答申として意見書にまとめて町長さんにお返ししていきたい。</p> <p>○お気づきの点やお考えのことについて、ご意見をお願いしたい。では、早速審議に入っていきたいと思う。</p>

3. 議題

(1) 基本骨子のふりかえりについて

(2) 基本構想「まちづくりの尺度」について

会 長	○前回の振り返りと基本構想の「まちづくりの尺度」を合わせて、ご説明をお願いしたい。
事 務 局	※資料3「骨子案」、資料1「第1編序論 第2編基本構想」の順に説明
会 長	<p>○資料1について。序論では計画趣旨やアンケート結果のまとめが書かれ、主要課題などについては、骨子で書かれた項目が文章化されている。</p> <p>○基本構想では、理念や将来像は軽々に変えるべきものではないので、第6次計画を引き続き継承していくこととしている。</p> <p>○まちづくりの尺度では、まちづくりで重視しないといけない事項が押さえてある。今回、6番目に「効率」という尺度を付加したのが大きな変更点であるとのことである。</p> <p>○みなさんの疑問は、町民のみなさんが持たれる疑問であろうかと思う。資料1について、どの点からでも結構ですのでご意見をお願いしたい。</p>
委 員	<p>○尺度の「効率」に関する文章に書かれている、今後は税収増加が見込めないと断定した理由を教えてほしい。</p> <p>○どうやって「コスト意識を持つのか」の具体的な方法がなければ実現は難しい。もうすこし切り込んだ記述がほしい。</p>
会 長	<p>○生産年齢人口が減少し労働人口が減少していくとともに、市場規模は縮小しており、右肩上がりの税収増加が見込めないというのが大きな流れである。</p> <p>○企業の活発な設備投資は期待される。</p>
委 員	○難しいという状況は間違いないと思う。断定的な表現を避けて、例えば「増収は見込みがたい」というやわらかい表現に見直したらどうか。
委 員	○「多くは見込めない」というやわらかい表現に変えたらどうか。決めつけるような表現は避けたほうがよい。

会 長	<p>○これまでのような税収増加は期待できない、多くは見込めないという文案にしたかどうかというご提案です。</p> <p>○ただし、ここで仔細の文案まで決めるものではないので、事務局で検討をお願いしたい。</p> <p>○コスト意識を安易に使うべきではないとのご意見があった。これ以降の基本計画で個別分野において表現されてくるのだろうか。</p> <p>○非常に難しいことであることは間違いないので、各施策でコスト意識をもって施策・事業が示されているか、そういう視点をもってしっかり検討していく必要がある。</p>
委 員	<p>○コスト意識をもつために、何か基準を設けてほしい。他の市町村と比較したベンチマークなどの比較基準を持つことが不可欠である。簡単な基準でもよい。</p>
会 長	<p>○ベンチマークを持つことの重要性は前回もご指摘いただいた。今後の分野別計画の検討のなかで、他のまちとの比較や参考にした施策などがあれば、事務局からも適宜情報を頂いて、議論を進めていきたい。</p>
委 員	<p>○計画策定の背景について、骨子案と異なる点がある。社会潮流の記載で、番号が重複しており、一部項目が減ったり、タイトルの表現も変わっている。</p> <p>○内容が変わっているのであれば、説明がないと困る。</p>
事 務 局 岩 田	<p>○番号は打ち間違いですので、お詫びして訂正したい。</p> <p>○骨子案との変更について。骨子案の7については、大口町でいえば、全国的な動向と比較して場合には、それほど財政的に厳しい状況ではないこともあり、関連する内容については6つめの項目にある程度盛り込んでいる。</p> <p>○3のICTについては、分野別の基本計画の策定でも複数の分野にわたり出てくるので、必要性を改めて見直し、表現も一部修正した。</p>
委 員	<p>○資料3と、前回の資料1は全く同じ内容か。同じであれば、説明が必要である。</p>
委 員	<p>○大口町も、社会経済のグローバルな影響は受けるので、財政状況の変化についても考えていく必要がある。減少の人口、税収の変化などについて、加味した表現がいるのではないかと。やんわりとした内容でも構わないので検討してほしい。</p>
委 員	<p>○5ページの農商工に関する記述に「工場進出」とあるが、ここは「企業進出」と書いたほうが適切ではないか。</p> <p>○また、同項目に「市民所得」とあるが、これは「町民所得」とどちらの表現がよいのか。</p> <p>○また「合計特殊出生率」という言葉が聞きなれないので、補足してほしい。</p>
委 員	<p>○「合計特殊出生率」は「しゅっしょうりつ」と読み、一般的に用いている用語である。</p>
委 員	<p>○2ページの「計画策定のねらいと特徴」の中で、「位置づけ」と「いちづける」という異なる語句があり、表現を統一すべき。</p> <p>○文章が長すぎて読みにくい部分も見受けられるので、句読点の打ち方など、読みやすい表現に努めてほしい。6ページの「また」という言葉の使い方も、再度チェックして読みやすくすべき。</p>

	<p>○11 ページにある「企業集積に伴う慢性的な渋滞問題」といった表現も、例えば「交通渋滞問題」などの表現でなるべくわかりやすく書いてほしい。</p> <p>○10 ページにある人口に関する記述についても、読みにくいので文章表現の見直しが必要だ。</p>
会 長	<p>○基本構想は総合計画の冒頭にくる部分であり、最初が肝心である。今後の文章を作るにあたって、注意すべき点を整理して、しっかり校正してから資料を提示してほしい。</p>
事務局 岩田	<p>○「市民所得」という語句は、事務局でも迷った。町の計画であるので、町民とすべきかと思うが、確認して見直したい。</p>
会 長	<p>○骨子案を文章化したと不用意に説明したが、丁寧にみる必要がある。</p> <p>○定義をはっきりしているのであれば、確認したうえで見直しをお願いしたい。</p> <p>○「工場進出が進んだ」は、重複した表現になっており見直しが必要だ。また「企業進出」に直してほうがよいとのご提案である。</p>
委 員	<p>○「町民」「市民」の定義はどう考えるべきか。企業として地域との共存共栄を考えると、「よき企業市民」と表現を用いている。</p> <p>○大枠でみれば、市民という使い方も正解かと思う。</p>
委 員	<p>○他市と比較するから「町民所得」という使い方が出てくるのではないか。</p>
委 員	<p>○議会広報を作成するにあたり、研修を受けて語句や表現について学んできた。</p> <p>○まずは「中学生」が理解できる表現にすることが基本であり、地域にあった表現を使うことが正しいといわれるので、「町民所得」が正しいのではないか。</p> <p>○誰を対象に見てもらうのか、それにも影響を受けると思う。</p>
会 長	<p>○誰が読むのかを意識することは大事なことである。</p> <p>○定義がどうなっているのか、一度確認・検討して見直しをお願いしたい。</p>
委 員	<p>○尺度に「効率」を加えたことから、「効率的な」や「コスト意識」といった言葉が多くみられる。</p> <p>○本庁は縦割りの予算を枠配分で行って、一定の効率を追求してきたと思う。17ページに「縦割り型行政ではなく横断的な発想で」となっている。</p> <p>○一方で、効率を考慮するあまり公平性が理屈通りにいなくなってきた面もある。全般的に内容に互換性がなく矛盾を感じる。もう少し互換性をもって言葉を選べないか。</p> <p>○第6次に書かれていた5つの尺度とちがひ、「効率」だけ一人歩きしてしまっている感じがある。総論的な表現とその中身に矛盾を感じた。</p>
会 長	<p>○効率性と公平性の両立は難しいということもある。公平に行うことで非効率になるなど難しい場面も出てくることになる。</p> <p>○時代の要請から、効率性は求められることは間違いないが、個々の施策をみていくときに、この視点をもって検討していくことが求められる。</p>
事務局 社 本	<p>○行政サービスは、市民から求められることをやり続けると、どんどん膨らんでいく面がある。そのために、全体の枠を決めながら、非効率であってもやるべきこ</p>

	<p>とと見直しをすべきことを整理して、効率的な行政運営を心掛けてきた。</p> <p>○ご指摘のように効率性と公平性の両立は難しいけれども入れている</p> <p>○そもそも、第6次計画では、効率的に行財政運営を進めること前提として策定されていたので、あえて書いていなかった。ただ書いてないがゆえに意識できなくなることもあるので、今回改めて「効率」を尺度に加えている。</p> <p>○コスト意識に偏重し削っていくことだけを求めていくものではない。</p> <p>○大口町は、財政的にアドバンテージをもらっているので、時間をかけてみなさんと一緒に考えていきたい</p>
委員	<p>○縦割り行政と横断的な視点についてお尋ねしたい。</p> <p>○つねに横断的な発想にたって進めることを前提とし、自主性と自律性を基本姿勢としてとらえることはわかる。</p> <p>○そもそも行政として、縦割りについてどう考え、また住民との協働についてどう考えて進めていこうとしているのか、考え方を教えてほしい。</p>
事務局 本社	<p>○一般的に、行政の「縦割り」の弊害を指摘されることが多い。</p> <p>○例えば子育て支援についても、出産から成長まで多様な支援が求められが、すべて同じ部署で進めていくというのは、かえって責任があいまいになるなど非効率な面がある。むしろ、しっかり役割分担をしながら、縦割り以外の部分を意識して連携して進めていくことが必要である。</p> <p>○実際に福祉子ども課と学校教育が、まだ十分ではないものの少しずつ連携しながら業務を進めている。組織を1つにしてしまうとあいまいになってしまうので、他の分野のことも意識しながら縦と横を意識して動いている。</p>
委員	<p>○行政そのものは縦割りでありながら、横とのつながりを意識して進めていこうということだろう。</p>
事務局 本社	<p>○事象によって「総合化」「専門化」し、総合的に考えていくことが大事である。</p> <p>○矛盾して当然の面もある。世の中と同様に行政施策も様々な矛盾をはらみつつ、矛盾するところを丁寧に対応し、わかりやすく説明しながら進めていくことが大事である。</p> <p>○公平の概念は、単なる従来型の公平だけでない。例えば年金の問題などを例に考えても、時間軸でとらえた世代間の公平なども配慮する必要がある。</p> <p>○また、誰でも平等という悪しき公平主義ではなく、きちんと機会を均等に確保・提供しつつ、メリハリをつけながら適切に配分することが公平である。</p> <p>○このように、一般的な概念をこえた、公平・公立のとらえ方が大事である。例示することでわかりやすく表現したい。</p>
会長	<p>○まちづくりの尺度は、まちづくりにおいて留意すべき原則であるので、ここだけ見ても議論が深まっていけない。</p> <p>○次回以降に示してもらおう分野別の計画内容の具体的な検討を進めながら、必要であれば尺度の設定や内容を見直すということでのよいのではないかと。</p> <p>○個別計画で、回数を増やして集中的に議論していただこうと考えている。</p>
委員	<p>○26 ページ以降は次回とのことだが、施策の大綱は見なくてよいのか。</p>

	<p>○まちづくり戦略のなかに盛り込まれていない大綱がある。例えば基本目標 1 第 3 節、基本目標 3 第 1 節、基本目標 4 第 3 節などは、まちづくり戦略のどこに入っているのか。</p> <p>○47 ページにある、「五条川の散策環境の充実」で施策コードが書かれているが、これは産業経済に該当する部分になるので、施策コードが間違えているのではないか。</p> <p>○施策の大綱に書かれている内容がまちづくりの戦略から外れるのか。戦略から外れるものはやらないということになるのか。見方を教えておいてほしい。</p>
事務局 岩田	<p>○まちづくり戦略のなかに、分野別計画がすべて盛り込まれて書かれているわけではない。重点的に取り組んでいくべき施策が整理されている。</p> <p>○大綱は、町全体の業務を網羅的に整理している。まちづくり戦略にすべて盛り込まれるものではない。</p>
委員	○わかりにくいので、戦略にもりこまれないものは大綱から外したらどうか。
事務局 社本	<p>○行政には多種多様な業務があり、すべてを進めていかないといけない。</p> <p>○ただ多様な仕事がありすぎるので、そのなかでも、今後の 10 年間でとくに目標を明確にしてやるべきことを位置付けたことが戦略であるをご理解頂きたい。</p>
委員	○まちづくり戦略の冒頭に、見方や内容について説明がいないのではないか。

(3) 基本計画総論「まちづくり戦略」について

会長	○議論の内容が第 3 編に入りつつあるので、概要について事務局からご説明をお願いしたい。
事務局 岩田	<p>※資料 2 「第 3 編基本計画 総論」の説明</p> <p>※事前資料から変更があり、当日配布資料 2 との差し替え。推計人口、土地利用などの変更部分を確認。</p>
会長	○次回も継続して議論可能かと思うので、時間がゆるす限りご意見を頂戴したい。
委員	<p>○33 ページの将来人口について。成行きだけでなくいろんな施策を講じることに よる目標値としてを設けたらどうか。</p> <p>○町の財政的に収支を考えた場合に、例えば有料老人ホームなどの施設に来てもら って裕福な高齢者も増やすなど、まちの収入を増やすための取り組みをいれてほ しい。</p> <p>○企業であれば、まず売り上げ目標があって、どうやって実現するかを真剣に考え る。どう使うかばかり考えて、歳入増の施策が足りないのではないか。</p> <p>○まちづくり戦略 3 について。中小企業向けの取り組みが書かれている。海外展開 の方向もあるなかで、単独ではできないので中小企業同士の連携により取り組ん でいくことを掲げたらどうか。</p>
会長	<p>○中小企業といつつ、海外に出ている企業も多い。一方で、中小企業として限界 もあり、煮詰まっている面もある。大口町のなかで連携できていないのであれば、 連携することで新たな展開を支援するのは効果的ではないか。</p> <p>○将来人口は「目標人口」なのかというご指摘である。</p>

事務局 本社	<p>○全国的に人口が減る中で、本町は減少するスピードはゆるやかであるものの、「目標人口」という表現は使いにくい面もある。</p> <p>○本町としては、今後も年齢バランスや人口構造を維持することがより重要であると考えている。ここで掲げた 24,000 という数字は目標とする人口であり、計画値でもある。</p> <p>○歳入増加策については、まさに個別の計画で触れる内容である。全国的に、過疎地で高齢者の受け入れを進める自治体もあるが、財政的な負担も無視できない。個別の基本施策のなかで、歳入確保の視点を踏まえてご検討をお願いしたい。</p> <p>○海外展開への支援もあるが、一方で当地域や国内で事業展開している中小企業の立地も多く、戦略3で掲げたように既存企業の売上アップなどにつながるような様々な支援も行っていきたい。</p>
委員	<p>○まちづくり戦略3について。実施方針1で、既存企業の売り上げアップ、創業しやすい環境づくり、用地拡大への支援など、企業としては大変ありがたい内容があるが、具体的な施策・事業について教えてほしい。</p>
事務局	<p>○今年の10月に組織を一部見直し、新たに「企業立地推進室」を立ち上げて企業支援を進めていこうとしている。</p>
委員	<p>○企業が独自に用地を確保することは難しい面もある。むしろ、外に出ていく企業を防ぐことは大事であり、具体的な支援策をお願いしたい。</p>
事務局 本社	<p>○優良農地はきちんと保全して農業の振興を図るとともに、企業と連携してニーズを掘り起こしながら、企業立地に対応できるように、今後柔軟な支援に取り組んでいきたい。</p>
会長	<p>○施策コードの説明をしておいてほしい。</p> <p>○個別計画に示されているということだと思うが、戦略が先行してしまっているのだからわかりにくくなっている。</p>
事務局	<p>○資料1の27ページをみてほしい。基本目標から節、基本施策までの番号を、わかりやすく管理できるようにコードにしている。</p> <p>○戦略と施策の大綱を見比べながら、確認していただきたい。</p> <p>○基本施策の下に個別施策・単位施策という小さな単位もあり、次回に個別計画をみてもらいながら確認をしてもらいたい。</p>

(4) 今後の審議の進め方について

会長	<p>○まちづくり戦略を含めた基本構想については、本日すべて審議を終える必要はないようですので、今後の進め方に関する説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>※資料5「第4回以降の審議会の開催について」の説明</p>
会長	<p>○次回から集中審議ということで、4回ほど議論をお願いしたいとのこと。</p> <p>○時間を1時間早くして18時開会にすることについては、よろしいだろうか。どうしても参加が難しい場合には、事前に書面でご意見を頂ければありがたい。</p> <p>○よろしければ、示された日程で、いずれも18時スタートで基本計画の議論に入っていきたいと思う。</p>

	<p>○基本計画総論について、個別計画を検討後に、改めてまちづくり戦略について、立ち返って修正のご意見を頂くことはできるとのことだが、本日の段階で特にご意見はありますか。</p> <p>○本日、みなさんのご意見を十分に頂くことができずに申し訳ございませんでした。ご意見がございましたら、書面でもお出し頂ければ幸いです。</p>
--	---

(5) その他

委 員	○文章の添削を事前にきちんと行ってから資料を提示してほしい。
事 務 局	○次回、改めて諮問書をお渡しすることになるので、ご承知おきいただきたい。
会 長	<p>○本日頂いた諮問書には、本日の審議事項のみが書かれていた。</p> <p>○次回、改めて諮問書で全体の審議事項を示してもらったうえで、本格的な審議に入っていきたい。</p>

以上